



自分の長所や得意なことで誰かの苦手をカバーして、自分の短所や苦手なことも受け止めてくれる誰かがいる。そんな組織を目指していますし、スタッフも実感しながら仕事をしています。みんなの凸凹がうまく組み合って、まあいの組織になっています。

それぞれの良さを活かす

やってみたいに寄り添うために

めぐみの
保育者として

対話でつむぐ
チーム保育

一緒にいたいと思われる人に

保育の中心は遊びです。子どもたちの「やってみたい」だけでは成長に必要な経験を保障することはできません。私たちは子どもの主体性を尊重しつつ子どもの今を見つめ、発達を見通しながら遊びの環境を作っています。

大人が言われて嬉しいことばは、子どもも言われて嬉しいですし、大人に言わないことばは子どもにも言いません。そんな当たり前だけ大事なことを、すこし意識しながら、子どもにも大人にも「この人ともっと一緒にいたいな」と思われる人になりたいと思っています。

